

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	J R 武蔵野線輸送力増強要請事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	都市計画課				
施策	1-8	利便性と快適性を重視した公共交通機関の整備充実	主管課長	中山 貢一				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	J R 武蔵野線の利用者	意図	輸送力の増強及び利便性の向上を図ることにより鉄道の混雑緩和を促進する。
事業内容	千葉県並びに松戸市、野田市、柏市及び我孫子市と連携を図り武蔵野線輸送力増強に関する要望活動を J R 東日本に対し実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成19年3月のダイヤ改正で府中本町行きが増発、平成24年3月のダイヤ改正では、新習志野発大宮行きを設定するなど、南浦和の混雑率200%⇒180%台に緩和を図った。 平成27年3月のダイヤ改正では、混雑緩和のため朝の通勤時間帯に計3本増発された。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	便利だと感じている駅利用者の割合	61.90			
②	ラッシュ時における混雑率	187	183	184	%	↓↓↓	
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） J R 東日本に対しダイヤ改正に係る要望書を提出。 路線別重点要望 ・通勤・通学者及びレジャー施設来園客のための列車の増発・増結 ・終電時刻の繰り下げ ダイヤ改正関係 ・増発・増結（特に混雑時間帯、通勤・通学時間帯） ・東京駅直通列車の増発 ・東京方面からの終電時刻の繰り下げ（接続する他路線との乗り継ぎ等利便性の向上）
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		71,780	69,870	69,093			
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)		71,780	69,870	69,093			
人役・職員(人)		0.01	0.01	0.01			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	D 国・県・広域自治体で担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	J R 線の利用者の利便性、快適性の向上を図るため輸送改善並びに鉄道施設整備を促進する。	③取り組みの課題	J R 東日本は、利用人員や快速列車の速達性、費用対効果の面からも、終電時刻の繰り下げや、大規模な改修を伴う要望について慎重な姿勢である。
②今年度(H26)に実施した取り組み	J R 東日本に対する要望活動の実施。	④今後の改善計画	引き続き J R 東日本に対し要望活動を行っていく。